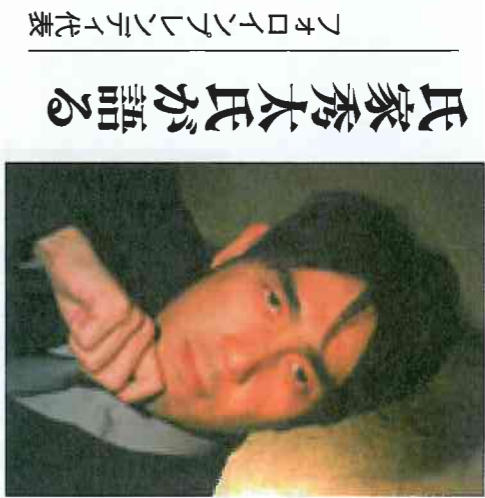


外食動機を創世せよ

注目の業種業態

3ベスト

- 1 農家直契カフェ
- 2 ヘルシー志向イケアウト併設店舗
- 3 ニアールコーポル型居酒屋



氏家秀太氏が語る
フロンティア代表

昨年の東日本大震災後、被災地福島県いわき市に乗り込み、「がんばっぺいわき」のキャッチフレーズのもと、「復興飲食堂」プロジェクトを進めるフロンティア代表の氏家秀太氏。東北地域では今なお個人飲食店において復活ができていない現状を踏まえながら、地域の食文化を担う全国の個人外食店に対し、今こそ飲食の構造改革を遂げようと提案する。国内の注目業種業態トップ3は①ニアールコーポル型居酒屋②ヘルシー志向イケアウト併設店舗③農家直契カフェなど。今年の外食産業界を予測。(詳細6面)

2012年 外食店大予測

国内編

国内のフロンティア界から注目される現状から注目を集める万4146店舗(2010年度)に上り、76万5723店(2010年度)のアメリカ・フランスなどのフロンティア本の外食FCSビジネスに次ぐフロンティア(FC)大日本。日本食ビジネスが世にやって来た。すでに元々が海を越える時代がやってくる。



アセニア・ホールディングス代表

土屋晃氏が語る

アメリカのFCビジネスは、最近では特にアジア、オーストラリア、中南米など、日本が誇る本邦を買収するまでにならなると言われている。最近では特にアジア、オーストラリア、中南米など、日本が誇る本邦を買収するまでにならなると言われている。



「外資企業向けに」
日本アセニア・ホールディングス
阿部投資部長に聞く



国内のフロンティア界から注目を集める現状から注目を集める万4146店舗(2010年度)に上り、76万5723店(2010年度)のアメリカ・フランスなどのフロンティア本の外食FCSビジネスに次ぐフロンティア(FC)大日本。日本食ビジネスが世にやって来た。すでに元々が海を越える時代がやってくる。

「日系FC」の海外成長期

4面
長は予測する。(詳細6面)
FC加盟店や現地日本
ダイニング・ホール
を積極的に展開するシ
本FCブランドなど
シナリオにおいて日
トメントとして、シ
注目の海外ビジネス
展開について伺った。

ビッグデータで「日系」展開大

本特有の応用力で高品質なシステムに創り上げた、今やアメリカン、ミスタードーナツなどのブランドを日展開している。

企業名	ブランド名	業態	店舗数
1 重光産業	味千ラーメン	ラーメン店	593
2 吉野家HD	吉野家	牛丼店	225
3 麦の穂	ピートVVなど	スイーツ店 (ライオンソフト)	95



海外出店をお考えの方 ホシザキがサポートします

海外に出店したいんだけど
何から手をつけたいのかわからない...

海外で日本と同等な機器を
調達できるのかわからない...

こんな悩み、ホシザキが解決！
海外でもホシザキ製品を安心してご利用いただくために、ホシザキグループの海外ネットワークを活用し、外食企業様の海外出店をしっかりとサポートします。私たち「フロンティア・フロンティア」が国内と出店国の橋渡しをおこなひ、お客様の一歩を踏み上げ、各国の環境にマッチしたご提案をさせていただきます。



ホシザキ電機株式会社 | フロンティア情報部 | 〒106-6074 東京都港区高輪 2-20-512 | ホシザキ電機ビル7階 | Tel: (03)5791-9031 | Email: info-apt@hoshizaki.co.jp

チェーン・フロンティア・不動産・店舗建設に関するすべての皆様へ

新報 Shinken
Machi Renaissance Journal
毎月5・20日発行
発行所: 新報新聞社
東京: 〒160-0015 東京都新宿区大塚3-14-6 TEL: 03-5312-2740
長野: 〒380-0836 長野県長野市南栗町686-8 TEL: 026-234-1115
<http://machi-ri-j.com>

INDEX 2012.1.20 vol.267

- 魅力満点の「アセアン」
- 「外資企業向けに」
日本アセニア・ホールディングス
阿部投資部長に聞く
- 北京で「日本ラーメン横丁」
- なるほどデータ
「中国外食チェーンの現状」
- 青谷会長が語る「食百年の会」
- 購読・広告のお申込みは ☎0120-47-4341
読者サービス課



アシアの大手企業が、アジアの大手企業が増えている。展開を標榜するアライエーションの創業者で、一例を挙げると、インドネシア国内で450店の量販店を運営するアセンティア・ホテルの海外進出支援業務を行う中で、日本へのFIC加盟を希望する

アメリカFIC買い漁るインド



アセンティア・ホテルインダス
土屋 晃代表
アセンティア・ホテルインダスは、インドネシアの土屋社長は、インドネシアの創業者で、一例を挙げると、インドネシア国内で450店の量販店を運営するアセンティア・ホテルの海外進出支援業務を行う中で、日本へのFIC加盟を希望する



アセンティア・ホテルインダスが特約パートナーする企業

インドネシアのFIC情報が増えている。展開を標榜するアライエーションの創業者で、一例を挙げると、インドネシア国内で450店の量販店を運営するアセンティア・ホテルの海外進出支援業務を行う中で、日本へのFIC加盟を希望する



インドネシアのFIC情報が増えている。展開を標榜するアライエーションの創業者で、一例を挙げると、インドネシア国内で450店の量販店を運営するアセンティア・ホテルの海外進出支援業務を行う中で、日本へのFIC加盟を希望する

外食店大予測 2012

海外編

アジアの主なフランチャイズ協会と展示会一覧

国名	フランチャイズ協会名	展示会名	開催予定日
日本	社団法人日本フランチャイズチェーン協会 (JFPA)	フランチャイズ・ショー2012 (東京)	2012/03/06-08
中国	中国連鎖経営協会(Chain-Store & Franchise Association (CCFA))	中国フランチャイズ・エキスポ北京	2012/05/11-13
香港	Franchise Association (HKFA) c/o Hong Kong General Chamber of Commerce (HKGCC)	中国フランチャイズ・エキスポ上海	2012/09/17-19
台湾	台湾連鎖加盟促進協会	台北国際連鎖加盟大展	2012/02/24-27
韓国	Korean Franchise Association (KFA)	フランチャイズ・ビジネス・エキスポ(ソウル)	2012/03/15-17
タイ	アジア太平洋フランチャイズ連盟 (APFC) 加盟申請中の団体1社有り	フランチャイズ&ビジネス&フランチャイズ・エキスポ(バンコク)	2012/01/26-29
シンガポール	Franchising and Licensing Association (FLA)	フランチャイズ・ビジネス&ライセンシング(クワラルンパル)	2012/09/予定
インドネシア	インドネシアフランチャイズ協会 (AFI)	インドネシア・フランチャイズ・エキスポ(ジャカルタ)	2012/06/01-03
ペトナム	設立準備中	インドネシア・フランチャイズ・エキスポ(ハノイ)	不定期
フィリピン	Philippines Franchise Association (PFA)	フィリピン・フランチャイズ・エキスポ	2012/06/06-08
オーストラリア	Franchise Council of Australia (FCA)	フランチャイズ・ビジネス&ビジネス(シドニー)	2012/03/23-25
アメリカ	INTERNATIONAL FRANCHISE ASSOCIATION (IFA)	フランチャイズ・ビジネス(ワシントン)	2012/01/20-22
カナダ	Canadian Franchise Association (CFA)	フランチャイズ・ショー(モントリオール)	2012/01/21-22
メキシコ	Mexican Franchise Association (MFA)	フランチャイズ・ショー(モントリオール)	2012/01/21-22
ブラジル	Brazilian Franchise Association (BFA)	ABF フランチャイズ・エキスポ	2012/06/13-16
イギリス	British Franchise Association (BFA)	ナショナル・フランチャイズ・エキスポ(ロンドン)	2012/02/24-25
ギリシャ	Greece Franchise Association (GFA)	フランチャイズ&インターナショナル・フランチャイズ・エキスポ(アテネ)	2012/03/16-17
フランス	France Franchise Federation (FPF)	KEM インターナショナル・フランチャイズ・エキスポ	2012/03/02-05
アメリカ	International Franchise Association (IFA)	フランチャイズ・エキスポ・パリ	2012/03/18-21
アメリカ	International Franchise Association (IFA)	アメリカン・フランチャイズ協会・エキスポ	2012/04/27-28

生産性低い日本のFIC本部 知識集約型FICを売り込め

日本はアジアの経済成長に乗り、現地の優良品をパートナーにすることで、外食サービス産業の新たな発展が期待できる。



日本において海外進出と見れば、つい最近まで専ら第2次産業の製造業などの工業進出が中心だった。

型ビジネスの典型モデルであるため、知識集約型ビジネスのFIC本部は、日本が世界で第2位のFIC大国パイサイ(SV)お題とチャンスがある。

日本はアジアの経済成長に乗り、現地の優良品をパートナーにすることで、外食サービス産業の新たな発展が期待できる。

